

テレビ静岡では番組の適正化を諮るための審議機関「番組審議会」を設けています。

このページでは番組審議会の議事の概要をお知らせしています。現在、テレビ静岡では県内在住の8名の方に審議委員をお願いしており、毎月1回（2月、8月は休会）番組について、ご意見を伺い、今後の番組制作の参考にさせていただいています。

## テレビ静岡 2021年6月度 番組審議会概要

2021年6月10日（木）

14時00分～

テレビ静岡本社 4階 会議室

### — 出席委員 —

高木 正和(委員長) 戸崎 文葉(副委員長) 石田 美枝子 木村 精治  
上柳 正仁(レポート出席) 飯野 勝己(レポート出席)  
松本 恵司 山本 正博(欠席)

### — 議 題 —

番組名 「爆笑問題の深海WANTED7  
新種の深海モンスター！奇跡の遭遇SP」

放送日時 2021年5月30日（日）16時05分～17時20分  
（静岡地区は16時00分から5分間 番組見どころ放送）

制作著作 テレビ静岡

### — 番組内容 —

希少な深海生物の撮影・捕獲・展示をめざす「爆笑問題の深海WANTED」は2015年からスタートし、今回がシリーズの7作目となる。今回は日本最深の湾・駿河湾と沖縄を舞台に、新種の深海モンスター撮影プロジェクトを展開した。

駿河湾で狙うのは、2021年1月に新種登録されたばかりで、世界でまだ5体しか見つかっていない「ヨコツナイワシ」。深海魚や撮影のスペシャリストが集結し、最新マシンで水深2,000m以上の深海で、謎の多い巨大魚を追った。

沖縄では最大落差200mの「魔の崖」で、沖縄美ら海水族館のチームとともに無人潜水艇を駆使し、美しく、珍しい、様々な深海生物の姿を捉えた。

— 審議概要 —

- ◎ロケのメンバー、スタジオゲスト、駿河湾と沖縄と爆笑問題のコーナー、進化する機材など、お馴染み感、安定感があって安心して見ることができ、楽しく、ためになる番組だった。
- ◎期待以上の成果で、シリーズ最高の出来というもうなすける内容だった。あらためて深海生物と駿河湾の奥深さを再認識した。
- ◎最先端の機材と高度な技術を駆使し、記録映像としても貴重。
- ◎漁師、撮影、水族館など、それぞれのプロが職人技を十分に発揮していた。関わった人たちの情熱がよく表れていた。
- ◎教育・教養と、バラエティのバランスが難しかったと思うが、難しい内容をわかりやすく説明し、雰囲気も柔らかく、うまく伝えることができていた。
- ◎前半の駿河湾がワクワクする冒険、後半の沖縄はかわいい、きれい、面白い魚や生物。番組の構成がうまく棲み分けられていて、飽きさせなかった。
- ◎鈴木香里武さん、ココリコ田中さんの解説やコメントは、的確かつ「好き」ということが良く伝わってきて良かった。
- ◎深海に漂うレジ袋は考えさせられた。もう少し問題提起してほしかった。
- ◎ヨコツナイワシの研究成果を続報で伝えてほしい。
- ◎せっかく駿河湾を探索しているので、地元の学校や研究機関との連携なども進めてほしい。
- ◎今回のヨコツナイワシも含めたこれまで7回の蓄積を、DVD化して教育機関などで活用してもらったらどうか。また、展示会やイベントなど、視聴者が直接参加できるような別の形で発展させても良いのではないか。

以上、制作部門にフィードバックし、今後の番組作りの参考とさせていただきます。

次回の番組審議会は2021年7月8日（木）の予定です。